

# 調査・研修等計画届出書

令和 4年 9月26日

瀬戸市議会議長 様

議員名 山田 治義 ㊟

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和 4年10月13日から10月14日まで（1泊2日）	
調査先・研修名	長崎県長崎市（第84回 全国都市問題会議）	
会場名（会場所在地）	長崎県長崎市 出島メッセ長崎	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	第84回 全国都市問題会議 個性を活かして「選ばれる」まちづくり ～何度も訪れたい場所になるために～ 第1日 10月13日（木） 基調講演・主報告・一般報告3件 第2日 10月14日（金） パネルディスカッション・行政視察	
議長名の依頼	要・ <input type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	山田治義・宮菌伸仁・高島淳・柴田利勝・三木雪実 長江公夫・富田宗一・小澤勝・西本潤・朝井賢次	

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和 4 年 11 月 25 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 山田 治義 (印)

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 4 年 10 月 13 日から 10 月 14 日まで (1 泊 2 日)
調査先・研修名	長崎県長崎市 (第 84 回 全国都市問題会議)
会場名 (会場所在地)	長崎県長崎市 出島メッセ長崎
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	<p>今回の全国都市問題会議のテーマは、個性を活かして「選ばれる」まちづくり、～何度も訪れたい場所になるために～である。</p> <p>本市においては第 6 次総合計画をもとにまちづくりを進めているところであるが、シティプロモーション事業等により対外的な誘客や市民のシビックプライドの醸成を求めているが大きな成果は上がっていない。</p> <p>本市におけるまちづくりの参考となるようなキーワードやヒントを得ることができるものと考え参加した。</p>
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
<p>議題の解説では、「現在は、大都市への集中という従来の流れから、「分散型」社会に向かう流れの転換点にさしかかっているとみえる。そのような大きな時代の転換を捉え、各都市において将来的に移住・定住先としての選択肢になることを視野に入れながら、人々が訪れ、集まり、交流する場所として選ばれるような個性を活かした魅力ある地域づくりについて考えることが、今求められている。」と示されている。</p>	

### 【基調講演】

(株) ジャパネットホールディング CEO の高田旭人氏からは、民間企業として地元長崎を盛り上げたいと思う地元愛に溢れる講演を拝聴することができた。

現在、長崎駅前にスタジアム・アリーナや商業施設、ホテル等で構成するまちづくり「長崎スタジアムシティプロジェクト」を進め、2024年の開業を目指している。

そしていずれは、長崎での地域創生の成功モデルを横展開し、日本全国の発展に貢献できることを目指している。しかし、民間企業のみだけではできないことも数多くあり、周辺整備など「地域を活性化させる」という同じゴールの絵をもって、行政や市民と一緒にしないと理想の地域創生にはならないとの内容であった。

### 【主報告】

長崎市長「田上富久氏」はじめ島根県立大学地域政策学部准教授「田中輝美氏」・山形市長「佐藤孝弘氏」・一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事「高尾忠志氏」から報告を受けた。

長崎市長からは「長崎市の魅力あるまちづくり」と題し、以下の様な報告があった。

歴史ある長崎市であるが、昨今、価値観の多様性から新たな価値を求めて、大都市から地方へと新たな人の流れが生まれ始めていることから、まちの価値を見つめ直した長崎市の取組みが紹介された。

価値を見つけ、それに気づき、磨き、新たに創造する「長崎スタジアムシティプロジェクト」など新しい価値を生み出す取り組みである。

価値を見つける点では、「軍艦島」や見る角度を変えることで「長崎と恐竜」という新たな価値を湯布院のまちづくりを参考に見つけることができた。また市民参加による企画やガイドによる取り組みを進めることで、市民の新たな気づきが生まれシビックプライドの醸成につながった。価値を磨く点では、専門家に職員の景観に関する意識の醸成と公共デザインの指導と管理を依頼することで、まちの魅力の向上につながった。最後にこれらの成果は市民・事業者・行政がウィンウィンの関係にならないと成し得ないと締めくくられた。

田中准教授の報告からは特に参考となるキーワードやヒントは得られなかった。

山形市長からは「ビジョンを活かしたまちづくり」と題し報告を受けた。

山形市が「選ばれるまち」となるためには、市として明確な将来ビジョンを定め、様々な政策をそれに結び付けて展開することが重要で、山形市としては「健康医療先進都市」「文化創造都市」を2大ビジョンとして施策展開をしてきた。

健康医療都市を目指して、大学の医学部における先端医療施設や中核都市として保健所の誘致をするなど、医療・保健という地域資源を活かして様々な施策を展開している。「歩くこと」をベースにした健康で暮らしやすいまちづくりや公共交通の充実による徒歩の補完である。そして、モデル事業の成功事例をもとに横展開し、都市のブランド力の向上を目指している。

文化創造都市については、山形交響楽団を始め、国際的なドキュメンタリー映画祭の開催や茶道においては全国的な茶会を開催するなど、地域の文化資産を活かし施策展開をしているとの報告があった。

一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事高尾忠志氏からは、「交流の産業都市」を支える景観まちづくりについて報告を受けた。

高尾氏は田上長崎市長の要請を受け、長崎市の景観専門監として「長崎市が行う公共事業のデザインの指導と管理」「長崎市職員の育成」というミッションに関わり、大きな成果を上げ今は現職に就かれている。田上市長も報告の中で高尾氏の活躍を、高く評価されている。最後に専門監を置き専門的な知見を持つ人と一緒に事業展開することは、人材育成の観点からも意義深い仕組みであると強調された。

### 【パネルディスカッション】

パネルディスカッションでは6名のパネラーからの以下の報告の後、意見交換があった。

- ・東京都立大学法学部教授の大杉覚氏からは、「選ばれる」まちづくりに向けた都市自治体のアプローチについて

- ・ゆとり研究所長の野口智子氏からは人を磨き、輝く人が人を呼ぶ「雲仙人プロジェクト」の試みについて

- ・山梨大学生命環境学部地域社会システム学科教授の田中敦氏からは、ワーケーションの意味の拡張と変異について

- ・NPO 法人長崎コンプラドール理事長の桐野耕一氏からは、人は人に会いに行く「まち歩き」で見つけたまちのつくり方について

- ・岐阜県飛騨市長の都竹淳也氏からは、人口減少先進地の挑戦、ファンとともに取り組むまちづくりについて

- ・兵庫県伊丹市長の藤原保幸氏からは清酒発祥の地・伊丹、酒と文化が薫まちについて

上記の報告や意見交換で参考になった点は、大杉氏の地域の価値は地域づくりの「根っこ」に当たり、地域価値を強固なものにし、シビックプライドを醸成することが、その地域の新たな価値を希求する原動力や基盤になるとして紹介された多様なアプローチの成功事例は興味深いものであった。

桐野氏の報告の中で印象に残ったことは、氏は自ら「まち歩きガイド」として活動し、「わがまち」を語ることで自身のアイデンティティを見つけ、「まち」の中に自己表現の場を得ることができた。

そして「まち」を舞台にすれば、みんなに役割と出番があり、これがシビックプライドの醸成に大いに寄与しているとされ、まちの良さを伝えるには、自分が誰よりもそのまちを愛することだと強調された。

**【長崎市内視察】**

都市問題会議の後の長崎市内の視察では、「まち歩きガイド」の皆さんに案内をしていただき、ガイドの皆さんの熱心さに感銘を受けた。

長崎市は坂の多いまちとして有名であるが、実際に歩いてみると大変であった。

高齢者や障害者等の日々のくらしは大変だと思うが、行政がどのような対応をしているのか、都市問題会議のテーマとは別の観点から興味が湧いた。

**調査・研修の成果・考察**

(瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等)

本市における地域づくりを進めていく上で、急速に高齢化が進む中、生産年齢層の定住化の促進やシビックプライドの醸成は喫緊の課題である。また、本市の潜在的魅力である「やきもの文化」や「自然環境」を活かすことはもとより、新たな魅力の創出も重要な課題となっている。

会議で示された事例報告や様々なまちづくりの進め方については、本市が参考にすべき点が多くあり今後の議員活動に活かして行きたい。

# 行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
4 年 10 月 12	中部国際空港	飛行機	片道	熊本空港	603	km	31,640	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
日付	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
	ANAクラウンプラザホテル長崎				095-818-6601		円		
備考欄									

31,640 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
4 年 10 月 13						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
	ANAクラウンプラザホテル長崎				095-818-6601		円		
備考欄									

小計 0 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
4 年 10 月 14	長崎駅ターミナル	バス	片道	長崎空港		km	1,000	円	円
	長崎空港	飛行機	片道	中部国際空港	671	km	34,240	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
日	宿泊先名称				TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

バック等による割引など

小計 35,240 円

5,190 円

宿泊費 合計

交通費 合計

0 円

66,880 円

申請額合計  
(宿泊費+交通費-割引代)

61,690 円